

「すべての原発を廃炉にしよう！」シリーズ14

11.11反原発100万人大占拠！ に参加し、抗議の声をあげよう！



11月11日に首都圏反原発連合の主催による、反原発100万人抗議行動が予定されています。これは組合の動員ではありません。「この国から原発を無くそう！」と意志する人が、原発を推進する政府・官僚・経済界・マスコミ・御用学者・米国に抗議する集まりです。皆さん！個人の意志で参加してください。そして「原発反対！」の声をあげましょう！日本列島をこれ以上、放射能汚染させないために！

★15:00～19:00 国会周辺並びに周辺省庁での抗議・占拠

首相官邸前/経産省前/文科省前などにも抗議エリアを設けます。

★17:00～19:00 国会正門前大集会

【主催】首都圏反原発連合 -Metropolitan coalition against nukes-

【協力】さようなら原発 1000万人アクション/原発をなくす全国連絡会/脱原発世界会議/経産省前テントひろば

*当初は13時に日比谷公園に集まり、デモに出発する予定でしたが、東京都による「公園管理上の支障」なる妨害により使用が却下されたためです。

呼びかけ

2012年夏、野田政権は世論である「再稼働反対」の声を踏みにじり、安全対策も後回しのまま、「国民の生活を守る」という嘘で脅しをかけ、大飯原発3、4号機の再稼働に踏み切りました。ところが関西電力の総出力に占める大飯原発の割合は1割にも満たず、実質的に「原発ゼロ」の状態が続いており、夏場さえほぼ「原発ゼロ」で乗り切ったのです。

この事実こそが、既に日本が原発に依存していないこと、即時停止こそが現実的な選択であることをはっきりと証明しています。

にも関わらず、政府はパブリックコメントで「原発ゼロ」を望む声が9割以上である事を無視し、経済界やアメリカからの要請を受け「原発ゼロ」を含む「革新的エネルギー・環境戦略」の閣議決定を見送り、また、本来「原子力ムラからの影響排除」という趣旨で進められていた原子力規制委員会および規制庁の人事を、田中俊一氏をはじめとした原子力ムラの間人や官僚によって構成しました。

こうした法規を軽んじ、脱法的に原発を延命させようとする動きによって、全原発即時廃止の実現は雲行きが非常に怪しくなっています。

日本はこのままでは、福島第一原発事故の収束もままならず、補償等の問題も解決しないまま、永久的な原発存続への道を突き進んでしまいます。

しかし、それでも私たちには、声をあげるにより世の中をより良く変えていく力がまだまだあります。

5月5日から56日間も続いた全国50基すべての原発の停止も、市民が首相に直接面会し要求をした事も、政府が一時的にも「原発ゼロ」に言及した事実も、すべては原発のない社会を望む一般市民が黙ることをやめ、声をあげたことから始まりました。

3.11以降全国各地で毎週続いてきたデモ、毎週金曜の首相官邸前をはじめとする全国で100を超える地域での抗議行動、パブリックコメントや署名ほか、一般市民の懸命な反原発運動は、確実に政府を揺るがしてきました。

首都圏反原発連合は、来る11月11日、首相官邸前、国会議事堂周辺をはじめとする永田町・霞が関一帯で、未だかつてない大規模な抗議行動を呼びかけます。

政府に「原発ゼロ」の英断をさせ、再稼働を許さず、全原発即時廃止を実現するために、100万人規模の強大な声をたたきつけましょう！

首都圏にお住まいの方はもちろん、全国からの皆さんのご参集をお願いします。

*首都圏反原発連合とは

原発に反対するグループや個人が力を合わせようと、2011年9月に立ち上げたネットワーク（連絡網）です。2012年1月14日にパシフィコ横浜で開催された「脱原発世界会議」に連動したデモを行い。2012年3月11日には、国会議事堂を追悼と抗議のキャンドルで包囲するアクションを開催し14000人が参加。2012年3月末より金曜日デモ、大飯原発再稼働に抗議する首相官邸前抗議行動を呼びかけ。7月29日には「脱原発国会大包围」を開催し20万人が国会議事堂を包囲した。